



ちょうじや便り

第 二 号
平成二一年二月
前号テーマ：小松 帯刀

前回『小松帯刀』から始まった、『ちょうじや便り』第2回めの今回は、地元ネタを書かせていただきたいと思います。そして今回の内容が今後のこの便りに重要な意味を持つと思いますので。。

皆様は島津日新公(忠良)を知っていますか？

おそらく殆どの方が知らないと思います。しかし当地加世田では知らない者はいない有名な方です。

日新公は鹿児島県の伊作出身で、当地加世田を領土にし、最後はココ加世田で亡くなった為に加世田の竹田神社に祀られております。彼の功績として一番有名なのは、まずは人生の教訓を散りばめた名歌集『いろは歌』を作った事、そして九州を制圧したり、関ヶ原でたった300人余りの兵で徳川軍の敵中突破『島津の退き口』をした事で有名な島津義弘兄弟の祖父であるという事です。

いろは歌と言うのは、「いろはにほへと～」の「い」から全ての各字を文始に置く短歌です。正直、このようなモノを作れると言う事に驚きを隠せません。たった31字に人生の教訓を含めたばかりか、「いろは～」の47文字を文始に置けるという技術です。日本ももっと重要視すべき作品だと思います。自分は今26歳なのですが、中国古典を愛読してまいりました。しかし地元で育ちながらこの年になって初めて、いろは歌と言うものが中国古典に引けをとらない素晴らしいものだと気がきました(恥) どうせなら地元の教典を自分のバイブルにしようと思い、いろは歌を学び始めました。

自分は加世田小学校出身ではないのですが、この小学校の全校生徒は、いろは歌全てを覚えるのが義務だそうです。自分も小学生時代は『いろはかるた』という物をしました。

今後の便りではスペースがある限り毎回このいろは歌を大意も含めて載せていこうと思っております。では早速「い」から書かせて頂きたいと思います。

<< 竹田神社 >>



日新公の祀られている神社です。毎年7月23日にはお祭りがあり、水車カラクリ人形等が踊ったりします。

<< 日新公の墓 >>



ひっそりとした杉林の中にあります。自分は各地の島津家の墓を訪れましたが、どこも森林の中にあります。夏は涼しく非常に心地良い空間を提供してくれま

す。このお墓は竹田神社の敷地内にあります。

<< いにしへの道 >>



社から墓へ向かう途中の道です。自分はたまに天気のいい平日に散歩します。各岩には各いろは歌が刻まれており、京都の哲学の道のような感じ

～ 今月のいろは歌 ～

い：いにしへの道を聞いても 唱へても
我が行ひに せずばかひなし

意：昔からの立派な教えをいくら聞いても、またどれだけ口先で唱えても、自分で実行しなければ何の役にも立たない。

で歩いております。その時の自分に必要な歌を見つけては反省したり、考えをまとめる為に利用しております。気持ちの良い森林の中でリラックスでき、ストレスも消え、自分には欠かせない場所となっています。



ご意見・ご要望などございましたら、振込み用紙の通信欄、メール、電話、FAXなどで遠慮なくご連絡下さい。 製造担当：宮本

創業 享保二十年
株式会社 丁子屋

〒897-1121
鹿児島県南さつま市加世田唐仁原6032
休み：日曜・祝祭日・第2土曜

TEL：0993-53-2711
FAX：0993-52-2749
メール：kchoujiya@gmail.com